

〔総 説〕

薬価制度の抜本改革—ジェネリック医薬品を中心に—

Fiscal 2018 Comprehensive Revision of the NHI Drug Pricing System
—with the Focus on Generic Drugs

坂巻 弘之 HIROYUKI SAKAMAKI

東京理科大学経営学部

Summary : The fiscal 2018 revision of the NHI Drug Pricing System departs from dependence on long-listed drugs, which is part of pharmaceutical companies' management strategy. In addition, the price of some generic drugs that have been on the market for over 10 years will gradually be consolidated into a unified price. As Japan's drug costs are increasing substantially, it is important to promote the use of generic drugs and biosimilars to control drug costs. On the other hand, it is also necessary to continue discussions on supporting pharmaceutical companies that have lost patent protection of their products.

Key words : generic drugs, biosimilars, long-listed drugs, NHI drug prices, medical fee

要旨: 2018 年度薬価制度改革では、新薬企業の経営戦略において長期収載品への依存から脱却させるため、ジェネリック医薬品上市後 10 年を経た製品の一部については、段階的に価格を一つに集約することとされた。わが国の薬剤費の伸びは大きく、薬剤費コントロールのためにジェネリック医薬品、バイオシミラーの使用促進が重要である。その一方で、特許切れ医薬品産業育成のあり方についても、継続的な議論が求められる。

キーワード: ジェネリック医薬品（後発医薬品）、バイオ後続品（バイオシミラー）、長期収載品、薬価、診療報酬

日本の薬剤費の特徴と薬剤費コントロール

わが国の国民医療費は、2015（平成 27）年度の速報値（国民医療費の概況）で 42 兆 3,644 億円に達しており¹⁾、社会保障制度の維持のためにも医療費コントロールの重要性が指摘され続けている。薬剤費については、医療費のうちほぼ 4 分の 1 を占めていると考えられるが²⁾、厚労省の推計では、DPC/PDPS（Diagnosis Procedure Combination/Per-Diem Payment System）制度などの包括支払いの部分の推計が除かれているため、工場出荷ベース

より 1 兆円あまり少ない推計値である。この点も留意しつつ、厚労省の医療費と薬剤費の推計値をみると、介護保険制度が導入された 2000 年度を 100 とすると、薬剤以外の医療費が 1.32 倍であるのに対し、薬剤費は 1.47 倍と、この間、ほぼ 2 年おきに薬価改定があったにも関わらず、薬剤費の伸びが薬剤以外の医療費の伸びを一貫して上回っている（Fig. 1）。

このことは、先進国の中においても特徴的であり、経済協力開発機構（Organisation for Economic Co-operation and Development: OECD）の中でも、

東京理科大学経営学部教授
E-mail: hiroyuki.sakamaki@nifty.com

〔筆者略歴〕

・学歴

1978 年 3 月 北海道大学薬学部卒業
1992 年 3 月 慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了

・職歴

1999 年 11 月 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室助手
2000 年 5 月 医療経済研究機構研究部長兼主席研究員
2006 年 10 月 名城大学薬学部臨床経済学教室教授など

・学位

1992 年 3 月 修士（経営学）（慶應義塾大学）
2006 年 3 月 博士（医学）（慶應義塾大学）